

第23回 化粧品包装セミナー

—化粧品パッケージに求められるデザイン・設計—

日程：平成29年7月21日(金) 12:30 ~ 16:30
 会場：TKPガーデンシティ PREMIUM秋葉原 ホール2B
 主催：公益社団法人日本包装技術協会

ご参加のお勧め

第23回となる今回は『化粧品パッケージに求められるデザイン・設計』と銘打って開催します。新製品を開発にあたって基本品質は当然ですが、他製品との差別化・新規性は重要なポイントとなります。消費者目線で、美容トレンドを考え、消費者に納得して使っていただけるパッケージ開発が必要です。今回は化粧品パッケージに求められる項目・事項を多角的な視点で講演していただきます。化粧品パッケージ開発の際に活かしていただければ幸いです。

また、今回もプログラム最後に、講師の方々と企画委員とでの質問コーナーも開催します。どうぞ本セミナーに数多くの方のご参加をお待ちしております。

企画委員一同

プログラム

時間	講演内容	講師
12:30 ▼ 13:15	<p>『化粧品における加飾用エフェクト顔料について』</p> <p>世の中には様々な商品が販売されていますが、消費者の購買意欲を向上させるためには、その商品のパッケージデザインは重要な要素の一つです。デザインの中でも色というものは消費者の視線を集める効果は高く、また、色や形などを組み合わせることでより多くの異なったコンセプトのデザインを生み出すことが出来ます。</p> <p>メルクではエフェクト顔料のバイオニアとして様々な意匠の顔料を提供しております。このエフェクト顔料はパール顔料とも呼ばれますが、光をコントロールすることで、その意匠を発現しています。</p> <p>化粧品容器にも多く使用されているエフェクト顔料の意匠発現の原理や種類などをご紹介します。</p>	<p>メルクパフォーマンス マテリアルズ株式会社 PM顔料・機能性材料 事業本部 技術サービスグループ 東 和久 氏</p>
13:25 ▼ 14:10	<p>『20～30代女性の消費・美容トレンドについて』</p> <p>いつの時代も美容の関心が高く、流行にも敏感なのは若年女性ですが、どんな人なのでしょう？</p> <p>結婚・出産後も働き続けるのは当たり前。SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の浸透により情報収集も消費行動も変化が見られます。様々な時代の流れとともに変化し、多様化することで捉えづらくなってきている一方、仕事によって社会との接点は強化され、好奇心も情報収集能力も向上しています。</p> <p>自分の自由に使えるお金を手にして消費パワーを持った存在として、様々な注目が集まっています。</p> <p>そんな20～30代の若年女性の行動特徴や消費・美容トレンドから見る価値観や心を動かすツボについて、ご紹介いたします。</p>	<p>株式会社博報堂 買物研究所兼キャリアジョ研 主任研究員 松井 博代 氏</p>
14:20 ▼ 15:05	<p>『ブランド価値を創造するポーラのデザイン』</p> <p>ひとつのカタチを、多くの感動に変えて伝える。ポーラのデザイン哲学です。</p> <p>ポーラのプロダクトデザインには、その思想が根付いています。目指すのは、見る人の心を揺さぶること。シンボリックな造形の中に、非日常を美しく魅せ、美しい未来への想像をかき立てる。そんな心に響くデザインストーリーをいちばん大切にしています。デザインのジャッジは高揚感があるか、ないか。パッケージを見たり、触れたりした女性たちが「キレイになれそう」と前向きな気持ちであふれるような、新しいパッケージを探求しています。</p> <p>創業時から現在まで脈々と伝承されてきたポーラのデザインを紹介するとともに、特徴的なポーラのデザイン開発を通して、心に響くデザインストーリーを、いかに包装・加飾技術を駆使しながらデザイン性を高めているかをご紹介します。</p>	<p>株式会社ポーラ デザイン研究室 アートディレクター 鈴木 智晴 氏</p>
15:15 ▼ 16:30	<p>『質問タイム』 回答者：講演者・セミナー企画委員</p> <p>化粧品パッケージについて事前に参加者の皆様に質問用紙を配布し質問を受け付けます。</p> <p>上記講演に関する質問と併せて、講演者と本セミナー企画委員にそれぞれの立場でお応え頂きます。</p>	

化粧品包装セミナー企画委員 *本催しは各企業から代表された企画委員によりプログラムを編成しております

主査 住瀬 雅広 氏 株式会社DSC 代表取締役社長
 木本 喜久 氏 株式会社資生堂 化粧品開発センター 外装開発グループ 副主幹研究員
 直井 正宏 氏 株式会社コーセー 商品デザイン部 設計課 主任専門職
 鈴木 智晴 氏 株式会社ポーラ デザイン研究室 アートディレクター
 岡 政弘 氏 花王株式会社 包装容器開発研究所 グループリーダー

講師のご紹介

東 和久 氏

メルクパフォーマンスマテリアルズ株式会社
PM顔料・機能性材料事業本部
技術サービスグループ

【ご略歴】

1989年 日本ビグメント株式会社入社
2004年 メルク株式会社(現メルクパフォーマンスマテリアルズ株式会社)入社
プラスチックアプリケーション担当

松井 博代 氏

株式会社博報堂 買物研究所 兼 キャリジョ研
主任研究員

【ご略歴】

2008年 博報堂入社
マーケティング担当として新商品開発やブランディング、コミュニケーション戦略の立案などに関わる。
化粧品、トイレタリー、下着、美容家電、飲料、サプリメントなど主に女性ターゲットの商品を担当。
2013年より社内プロジェクト「博報堂キャリジョ研」を立ち上げ、20~30代の働く女性(=キャリジョ)についても研究中。

鈴木 智晴 氏

株式会社ポーラ デザイン研究室
アートディレクター

【ご略歴】

愛知県立芸術大学デザイン専攻卒業後、菓子メーカー、化粧品メーカーでパッケージデザインの制作を経て、2001年ポーラ化成工業株式会社 デザイン研究所入社。
ポーラ・オルビスグループの各事業会社の多様な販売チャネルや価格帯に対応した化粧品パッケージを手掛ける。
2015年株式会社ポーラ デザイン研究室出向。ポーラのパッケージデザイン開発を中心に、販促・媒体を含めたVIのコントロール、VMDに携わる。

講演要領

日時:平成29年7月21日(金) 12:30 ~ 16:30
会場:[TKPガーデンシティ PREMIUM秋葉原 ホール2B]
東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原2F
参加費:会員17,820円(消費税・テキスト代含む)
*同時に3名以上でお申込みの場合には、
割引価格として1名14,580円(消費税・テキスト代含む)
一般19,440円(消費税・テキスト代含む)

定員:100名

お申込み方法

- 本紙申込書に必要な事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
協会ホームページからお申込みできます。
*協会ホームページ:<http://www.jpi.or.jp>を検索し、各種・催事から「第23回化粧品包装セミナー」を開いて下さい。ページ末の申込みフォームに必要な事項をご記入して送信下さい。
- 申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。
- 当日、ご都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えありません。
(受付にて名刺をご提出いただけます)

お問合せ並びに申込み先

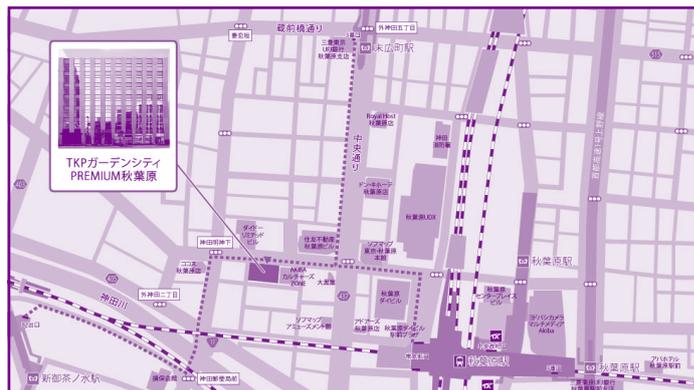
公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第23回化粧品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づき場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

会場案内図

- 会場:TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原 ホール2B
東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原2F
- アクセス:JR山手線 秋葉原駅 電気街口 徒歩4分
JR京浜東北線 秋葉原駅 電気街口 徒歩4分
JR総武線 秋葉原駅 電気街口 徒歩4分
つくばエクスプレス 秋葉原駅 徒歩6分
東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 3出口 徒歩7分
東京メトロ銀座線 末広町(東京都)駅 3出口 徒歩6分
東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 B2出口 徒歩7分



第23回化粧品包装セミナー(7月21日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内 FAX.03(3543)8970 No

会社名						JPI会員 ・ 一般 (どちらかに○を付けて下さい)
所在地	(〒)					
電話				FAX		
参加者名			所属役職			e-mail
			所属役職			e-mail
			所属役職			e-mail